

第85回 埼玉県駅伝競走大会

【出場結果】

実施日 : 2月4日(日)

コース : さいたま新都心駅前～熊谷スポーツ公園陸上競技場

総距離 : 6区間 42.195km チーム成績 : 2時間12分16秒 2/19位

出場者・リザルト	:	1区	小原 大輔	3/19位	20分35秒
		2区	佐野 雅治	3/19位	9分28秒
		3区	渡辺 瑠偉	3/19位	36分46秒
		4区	松谷 公靖	6/19位	12分43秒
		5区	土屋 天地	1/19位	33分44秒
		6区	松本 流星	5/19位	19分00秒

【レポート】

今週も降雪となり、開催が危ぶまれましたが、当日は天候に恵まれ、絶好の駅伝日和の中、レースがスタートしました。

先週の奥むさし駅伝ではミスが重なった結果、入賞を逃してしまいましたが、今回の駅伝では、チーム全員一人ひとりが自身の役割に徹し、最後まで諦めず襷をゴールまで運ぶ事を課題として戦いました。

今回はスタートから出遅れが許されないレースのため、1区(小原)、3区(渡辺)、5区(土屋)と、主要区間には奥むさし駅伝でも好成績を残した選手を配置して臨みました。



ShinDengen /

まず、1区を任された小原は3km過ぎまで先頭集団に食らい付くものの、中盤以降、先頭集団がペースアップすると、集団から離れてしまい苦しい走りとなりましたが、後ろの集団には追い上げを許さず、先頭とは30秒差で2区の佐野へ。



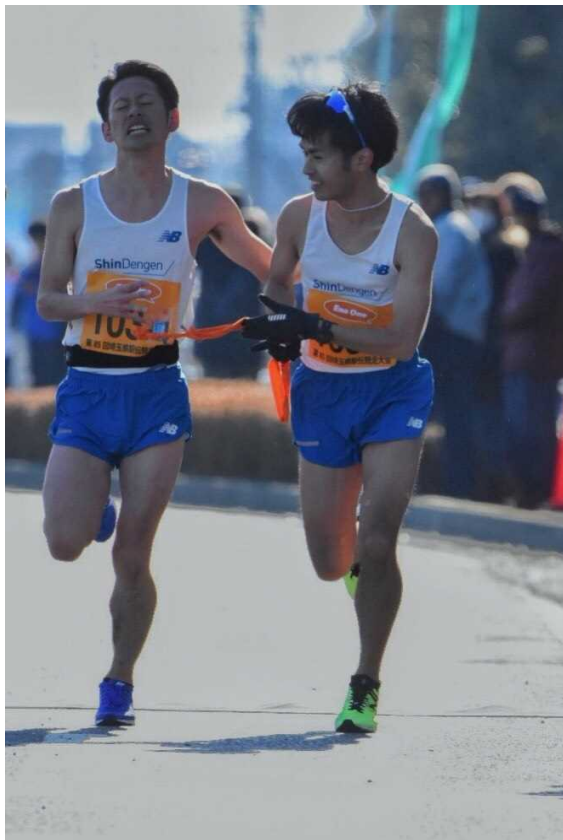
2区の佐野は故障からの復帰明けで本調子ではありませんが、気迫ある走りで区間賞には1秒及ばないものの、先頭との差はほぼ変わらない好走をみせ3区渡辺へ。



ShinDengen /

3区の渡辺は2人の外国人選手が走る最長のエース区間を、奥むさし駅伝の区間賞の走りの勢いそのままに、2km手前で後ろから追い上げてきた武蔵野学院大の外国人選手と並走し、ラストパートでは逆にその選手を引き離す快走で4区松谷へ。

4区の松谷は短い区間という事もあり、序盤から勢いよく飛び出したものの、中盤以降の伸びに欠け、先頭との差を逆に広げられる苦しい走りで5区土屋へ。



5区の土屋も後半の準エース区間で終盤まで安定感のあるレースを進めて先頭チームとの差を一気に詰めましたが、残り2kmで腹痛のアクシデントに襲われ失速、大きくペースを落としたものの、結果的に見事区間賞の走りでアンカー松本へ。

アンカー松本は、奥むさし駅伝1区の名誉挽回とリベンジを誓い、独走する先頭チームを追いますが、終盤は伸びを欠き、更に先頭に差を広げられ、何とか2位を死守する走りで、今年のレースを終えました。

【総括】

今回、優勝には手が届きませんでした。選手達の最後まで諦めない走りが実を結び、今後につながる形で今年度最終レースを終えることが出来ました。

これもひとえにご声援を頂きました多くの皆様のお蔭と確信しております。

チームとしましては、本年度最後の駅伝となりましたが、次年度には今回走れなかった故障者の復活に期待し、選手全員がライバルとなって、走る区間を争う様な最善のチーム状態で更に飛躍した結果を残せるよう活動に邁進して参ります。

最後になりますが、今大会も早朝から沿道に駆け付けてご声援を頂きました鈴木社長、堀口工場長、田中取締役をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力いただいた会社関係者の皆様に、あらためましてチーム一同、御礼申し上げます。

今後も一丸となって精一杯活動して参りますので、引続きチームに対する温かいご声援を賜いますよう宜しくお願い致します。有難う御座いました。

